

一般社団法人 航空貨物運送協会
編集・発行人 広報委員会

東京都中央区新川1丁目6-1 アステール茅場町ビル4階
電話 (03) 6222-7571 (代) FAX (03) 6222-7577
URL <http://www.jafa.or.jp/>

第20回 成田空港地区貨物施設見学会 (2024年度)開催

JAFANA-BIAC 共同研究会では、10月10日(木)、「第20回 成田空港地区貨物施設見学会 (2024年度)」を開催しました。同研究会は、毎年、荷主企業の皆様を対象に、航空貨物の実際の流れをご覧いただき、適切な梱包の重要性についてご理解いただくことを目的とした見学会を開催しております。今年度は、30名の方にご参加いただき、JAL カーゴサービスの上屋と全日本空輸のB777-200F (貨物専用機) を見学した後、成田国際空港株式会社ご担当者様に、成田空港の施設、旅客機と貨物専用機の違い、成田空港の現状と今後の取組み等についてご講義いただきました。その後、郵船ロジスティクス株式会社の空港外の施設にて、貨物の受託から航空機搭載用パレット (ULD) への組付け作業までの

一連の流れについてのプレゼン、実際の倉庫施設にて荷捌きの現場を見学した後、BIAC による航空貨物梱包要領についての解説が行われました。見学会の最後には、日本航空の成田オペレーションセンターにて Q&A の時間が設けられ、非常に活発な質疑応答がなされました。



(JAFANA-BIAC 共同研究会)



社会悪物品等密輸防止キャンペーン 講演会開催

当協会は、平成 4 年、大蔵省関税局(当時)と「密輸防止に関する覚書」を締結し、以来、毎年 10 月を取組強化月間と定め、「社会悪物品等密輸防止キャンペーン」を実施してまいりました。2019 年には、従来の不正薬物や銃器に加え、テロ関連物資と金地金等が追加され、内容も強化されてきました。

キャンペーン期間中は、ポスターやパンフレットの配布を行い、全国各地の空港で税関にご協力いただき講演会等も開催し意識啓発に努めてまいりました。今年度は、10 月 29 日(火)、昨年に続き、東京税関の協力により東京税関本関の会議室をお

借りし、東京税関調査部様より「社会悪物品の密輸事例等」、「経済安保関連」についてご講演いただくとともに、麻薬探知犬によるデモンストレーションを見学させていただきました。合計 34 名の会員企業の皆さんに、会場にて講演を聴講いただきました。6 月までの統計によれば、日本全国・東京税関管内ともに大麻の摘発件数が大きく増加する傾向にあり、今後ともより一層税関への緊密な協力を心がけていきたいと思ひます。

(通関業務・情報合同委員会、国際業務委員会)



IATA CBTA プロバイダー認証の更新について

当協会は、2022 年 9 月 30 日に IATA より CBTA プロバイダーとしての認証を受け、航空危険物教育訓練を実施してきましたが、同認証は、本年更新時期を迎えることから、7 月 17 日に IATA の審査官による再認証の監査が実施されました。8 月 6 日に、無事、認証が更新されましたのでご案内します。なお、再認証期間は 2024 年 9 月 30 日から 2026 年 9 月 30 日までの 2 年間となります。再認証されましたコースは、これまで通り 7.1、7.2、7.3 コースとなります。

(国際教育委員会)

コース	対象者	具体的な対象者
7.1	危険物委託を準備する従業員	荷主、荷主代行者、梱包業者、航空貨物代理店、混載業者、フォワーダー
7.2	一般貨物として提示された商品の処理と受け入れを担当する従業員	荷主、航空貨物代理店、混載業者、
7.3	危険物の処理または受け入れを担当する従業員	航空貨物代理店、混載業者、フォワーダー



IATA 認定資格試験結果について

2024 年 7 月以降実施しました IATA 認定資格試験（基礎コース・危険物コース）の結果を報告します。



基礎コース (Cargo Introductory Course)

2024 年 7 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注 1)	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	欠席 (No show)
基礎コース	50	39	78.0%	12	30.8%	6

注 1：欠席者含む

2024 年 9 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率 (注 1)	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率	欠席 (No show)
基礎コース	162	127	78.4%	39	30.7%	21

注 1：欠席者含む

危険物資格取得コース (CBTA) -2024 年 7 ~ 9 月実施分

2024 年 7 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.1 コース	12	12	100.0%	5	41.7%
7.3 コース イニシャル	19	18	94.7%	16	88.9%
7.3 コース リカレント	11	11	100.0%	6	54.5%
7.2 コース	22	22	100.0%	21	95.5%
合計	64	63	98.4%	48	76.2%

2024 年 8 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.3 コース イニシャル	20	19	95.0%	12	63.2%
7.3 コース リカレント	5	5	100.0%	4	80.0%
合計	25	24	96.0%	16	66.7%

2024 年 9 月	受験者数	合格者 (pass)	合格率	90 点以上の高得点者 (Distinction)	高得点での合格者率
7.3 コース イニシャル	38	38	100.0%	35	92.1%
7.3 コース リカレント	20	20	100.0%	17	85.0%
7.2 コース	3	3	100.0%	3	100.0%
合計	61	61	100.0%	55	90.2%

※ 8 月講習会では、当協会賛助会員様（専門学校生）から 11 名が受講し、全員合格いたしました。

2025 年 4 月以降の危険物資格取得講習会につきましては、2024 年 11 月以降に公開予定です。

是非多くの会員様従業員の方にご参加いただき、航空危険物取扱いの資格取得を目指していただきますようよろしくお願いいたします。

また、航空危険物を取扱う荷主様にも是非ご紹介いただき、航空危険物取扱いの資格取得を推奨いたしますよう併せてお願い申し上げます。

資格取得に関する詳細につきましては、当協会 HP【「一般社団法人航空貨物運送協会」-ディプロマ試験案内】をご覧ください。 (国際教育委員会)

(国際教育委員会)

Airport Cargo Eye 「新しい成田空港」構想について



成田国際空港株式会社 (NAA)
貨物営業部貨物営業グループ
マネージャー

横塚 雅史

平素より、成田国際空港の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当空港は皆様のご尽力により、日本最大の国際航空物流拠点であるとともに、日本最大の貿易額を誇る貿易港としても機能しております。

国際航空輸送は、もともと速達性と輸送品質の確保を必要とする貨物の輸送に適した輸送モードでありましたが、近年では、半導体等製造装置や医薬品といった、企業の経済活動や国民生活に不可欠な戦略物資の輸送手段として、その重要性を増しています。

2023年の実績を見ますと、日本全体における半導体等製造装置輸出の約30.9%、医薬品輸入の約62.4%（財務省貿易統計から作成、港を含む2023年金額ベース）が当空港を拠点として行われています。また、新型コロナ禍において海運の混乱、いわゆる「船落ち」が発生した際には、通常は航空輸送に適さない貨物まで、当空港を通じて輸

入がなされ、企業の経済活動、国民生活を支えることとなりました。これはひとえに国際航空ネットワークの維持に努められたエアライン各社と、日夜を問わず作業にあたった上屋事業者の皆様、そして成田空港周辺に拠点を構えられるフォワーダーの皆様のご尽力によるものと認識しております。

一方、日本国内の生産人口が減少し、海外空港との貨物路線ネットワーク獲得の競争が激しくなる現在、当空港が引き続き皆様の拠点として選ばれ、当空港の持つ社会インフラとしての使命を果たし続けるためには、当空港の国際競争力を強化する必要があります。

当空港では、旅客ターミナル及び新貨物地区の整備、空港アクセスの向上等を目指す「新しい成田空港」構想検討会を立ち上げ、新貨物地区においては世界最高水準の生産性と効率性をもつ「東アジアの貨物ハブ」を目指すことを掲げております。2022年10月から2024年6月まで計9回の検討会が実施され、2024年7月には、国に対し新貨物地区の整備時期を2030年代初頭とした「とりまとめ2.0」を提出しています。2024年9月からは、国が主体となった「今後の成田空港施設の機能強化に関する検討会」が開始され、有識者の他、航空事業者、鉄道事業者を交えた議論が開始されています。

新貨物地区の構想において、JAJFA 会員企業の皆様に最も影響があるのは、フォワーダー施設と貨物上屋の一体運用というテーマかと存じます。当空港

においては、開港時から1996年まで続いた「成田・原木仕分け基準」による空港域外への保税蔵置場設置の制限、同基準解消後の空港内施設における貨物取扱量の激増により、フォワーダーの皆様は空港内施設をご提供できない状況が続いておりました。そのため、現在も空港周辺のフォワーダー様施設と貨物地区との間では、毎日数千台のトラック輸送(横持ち)が発生しており、リードタイム、環境負荷、従業員・トラックドライバー確保等、様々な面で非効率が発生しています。

新貨物地区においては、フォワーダーの皆様は新貨物地区内に拠点(手倉)を構えていただき、上屋との物理的な距離を近接させた上で、両施設間の輸送を自動化させることで、横持ちに係る負荷をゼロとすることを目標としています。また、従業員の通勤アクセス、ES(従業員満足)に配慮した共用施設の整備等も検討してまいります。

新貨物地区の計画はまだまだスタートを切ったばかりであり、フォワーダーの皆様に進出を判断いただくために必要となる詳細なスケジュール、コスト等はこれから精査していくこととなります。引き続き、JAJFA 事務局のお力も借りながら、情報を発信させていただきます。

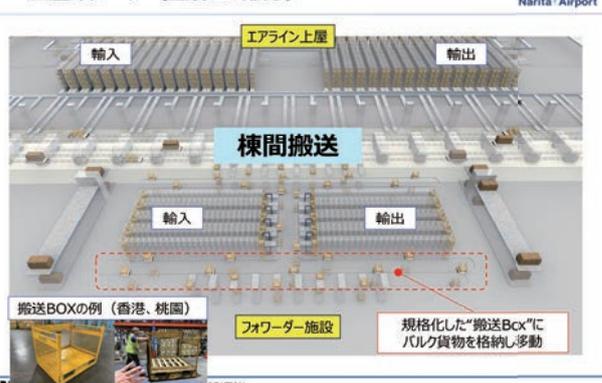
当社は、社会インフラの一端を担う国際空港の運営者として全力を尽くしてまいります。引き続きご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新旅客ターミナルと新貨物地区の配置イメージ

※今後の検討により変更が生じる場合があります。



上屋イメージ (全体2F部分)



政策委員会主催 JAF A セミナー「ONE Record」開催

IATA の主導により、現在、各国航空会社も導入を進めているワンレコードは、通関書類や航空貨物運送状 (AWB)、原産地証明書、インボイスなど商用書類といったあらゆる航空貨物関連書類・情報の共有から、貨物追跡までを、ウェブベースの単一プラットフォーム (PF) に機能を集約し、荷主や税関も含めた航空貨物ステークホルダーすべてが利用可能な、集約型データ・PF です。現在 IATA では 2026 年 1 月までにすべての航空会社が完全対応することを目標としています。7 月 30 日、政策委員会では、IATA・ジャパン、ANA Cargo、カーゴ・コミュニティー・システム・ジャパンの各社をお招きし、IATA、航空会社としてシステムプロバイダーの 3 者の立場から、ONE Record について解説いただきました。会場参加・オンライン合わせて 200 名を超える皆さんにご聴講いただき、関心の高さが窺われました。

(政策委員会)



JAF A セミナー「航空の脱炭素化に向けた持続可能な航空燃料 (SAF) 導入促進の取組について」

2022 年 10 月、国際民間航空機関 (ICAO) において、国際航空分野の 2050 年カーボンニュートラルが採択されました。わが国は 2030 年までに航空燃料の 10% を SAF にすることを目標とし、既に各航空会社では SAF 燃料を利用する取り組みをスタートしています。一方で、SAF の利用促進のためには、航空運送を利用する関係者全てが SAF 利用による CO₂ 削減効果に貢献・理解する必要があります。SAF 利用による CO₂ 削減効果が可視化され、航空利用者である荷主、フォワーダーに削減効果が按分される算定指針の策定と実証実験等が計画されています。

9 月 2 日 (月)、政策委員会では国土交通省航空局カーボンニュートラル推進室より、専門官の村瀬功様をお招きし、SAF の導入促進について基礎からわかり易く解説いただきました。会場・オンライン併用で、合計 147 名の皆さんに受講いただきました。

(政策委員会)



無申告危険物搭載防止キャンペーン

国内業務・教育委員会では、航空輸送の安全確保に向け、一年を通して危険物の適正な取扱いに関する教育・啓発活動に注力しています。その一環として毎年 11 月と 3 月の 2 回を強化月間とし、日本航空と ANA Cargo との共催で、「無申告危険物搭載防止キャンペーン」を開催しています。

キャンペーンのタイトルにもある「無申告危険物」とは、法令により荷主から運送事業者への通知申告義務が課せられているにもかかわらず、荷主から本来必要となる適正な通知・申告がないまま、一般貨物としてフォワーダーや航空会社へ引き渡される危険物を指します。この無申告危険物は、危険物に対して実施すべき措置が行われないまま、航空輸送されることになり、航空機の安全運航への重大な脅威となります。

本キャンペーンでは、このような脅威を排除するための重点取り組みの一つとして、受付窓口、搭載作業現場でのポスター掲示、チラシ配布により、会員各社の従業員並びに荷主に対する啓発活動にも取り組んでいます。なお、ポスターやチラシ等の啓発ツールは、当協会にて通年販売しておりますので、是非、ご活用ください。

(国内業務・教育委員会)



委員会等活動報告

7月	1日	Jafa-BIAC 共同研究会	航空危険物ベーシック講習会開催
	2～4日	国際教育委員会	CBTA 7.1イニシャルコース開催(東京・12名合格)
	9～11日	国際教育委員会	CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京・18名合格)
	12日	国際教育委員会	国際航空貨物基礎講習会、CBTA センター再認証について
	16～17日	国際教育委員会	CBTA 7.3リカレントコース開催(東京・11名合格)
	17日	国際教育委員会	CBTA センタープロバイダー再認証審査
	18日	国内業務・教育委員会	正副委員長互選、基礎講習の検証、新たな取り組み検討
	19日	広報委員会	正副委員長互選、Jafa ニュース131号最終編集会議他
	22日～8月1日	国際教育委員会	IATA ディプロマ試験・基礎コース7月セッション開催(39名合格)
	23日	国際宅配便業務委員会	EC 事業者に対する基礎的な貿易実務習得について
	24日	政策委員会	正副委員長互選、Jafa セミナー「ONE Record」について、次回 Jafa セミナーについて
	25日	国際教育委員会	CBTA 7.2コースオンライン開催(22名合格)、国内危険物講習会4名受講
	26日	国際交流委員会	FAPAA 総会出張報告、FIATA General Meeting 参加報告
	26日	広報委員会	Jafa ニュース131号(夏号)発行
	29日	保安委員会	正副委員長互選、2024年度航空保安教育訓練について、A-2/CSD フォームについて、他
	30日	政策委員会	Jafa セミナー「ONE Record」開催
	31日	国際業務委員会	本邦3社による DGD のペーパーレス化(PDF 送信)について他
8月	1日	Jafa-BIAC 共同研究会	正副委員長互選、危険物ベーシック講習会のレビュー、成田空港施設見学会について、他
	2日	通関業務・情報合同委員会	正副委員長互選、通関セミナーの開催報告、社会悪物品等密輸防止キャンペーン準備、他
	5～7日	国際教育委員会	CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京・13名合格)
	7～9日	国際教育委員会	CBTA 7.3イニシャルコース開催(賛助会員向け・11名合格)
	20日	保安委員会	2024年度航空保安教育訓練について、他
	21日	Jafa-BIAC 共同研究会	2024年度成田空港施設見学会について、他
	21日	国際教育委員会	東京都中小企業振興公社主催「初めての航空貨物取扱い」講習会講師派遣
	26日	国際教育委員会	国際航空貨物基礎講習会について他
	27～29日	国際教育委員会	IATA ディプロマ試験・基礎コース事前講習会開催(東京・大阪)
	28日	国際教育委員会	東京都中小企業振興公社主催「初めての航空貨物取扱い」講習会講師派遣
9月	2日	政策委員会	Jafa セミナー「航空の脱炭素化に向けた持続可能な航空燃料(SAF)導入促進の取り組み」開催
	3日	空港対策委員会	正副委員長の互選、他
	5日	通関業務・情報合同委員会	社会悪物品等密輸防止キャンペーン開催準備、関税局との意見交換会について、他
	6日	国際教育委員会	CBTA 7.2コースオンライン開催(3名合格)、国内危険物講習会154名受講
	10～12日	国際教育委員会	CBTA 7.3イニシャルコース開催(東京・大阪：38名合格)
	13日	政策委員会	Jafa セミナー「ONE Record」・「SAF」についての振り返り、次回セミナーについて、他
	17～18日	国際教育委員会	CBTA 7.3リカレントコース開催(東京・大阪：20名合格)
	19日	国際宅配便業務委員会	越境 EC 事業者に対する貿易実務習得について
	20日	国際交流委員会	2025年国際会議出席計画他
	20日	広報委員会	Jafa ニュース132号(秋)号について、他
	22日～10月1日	国際教育委員会	IATA ディプロマ試験・基礎コース9月セッション開催(127名合格)
	25日	国際業務委員会	本邦3社による DGD のペーパーレス化(PDF 送信)、LCC 会議について
26日	国内業務・教育委員会	航空危険物講習(7.2コース)受講状況報告、無申告危険物搭載防止キャンペーン、他	

あなたの 3 コードは？

～ JAF A 活動を支える皆様に、お仕事、経歴、趣味、ペット、故郷の自慢話、お勧めグルメ、これからの夢、得意のレア語学、今ハマっていること、推しの人、、、自由に、3点ほど語っていただきます。～



理事
(株式会社 YDH ジャパン)
小島 朋子

私がこの業界に入るきっかけとなったのは、中国語が出来るというだけで、知り合いより声がかかり、結婚、出産後で何もしていない時期に、エアボーン・エクスプレスに就職いたしました。そこから20年近く航空貨物業界で働かせていただいている中で、大きな影響があった中国、そして食いしん坊の私は、3コードを好きな中華料理について書いてみようと思います。

1つ目は北京ダックです。こちらは、私が北京に留学していた際に、近くに全聚徳があり、当時は25元くらいで食べられてすごく身近な食べ物であり、1羽をべろりと食べられるほど大好きなものです。日本では、皮しか食べないのですが、北京では1羽をすべて調理して皮だけでなく肉も

食べます。その他の部位も丸ごと唐揚げ、スープ等で余すことなく食します。また、北京ダックは比較的苦手な方が少ないので、私にとっては大勢の人でわいわいと集まって食べるようなお料理です。

2つ目は上海蟹です。日本のタラバガニなどと比べると、食べる場所も少なく手も汚れてしまい、それほど好きではなかったのですが、現地の方から食べ方を教えてからは、蒸しただけの上海蟹を黒酢や甘酢等でシンプルに手や歯を使って食べ、美味しい紹興酒と一緒に濃厚なメスのカニ味噌やオスの白子を一度堪能したら、毎年食べずにはられません。

日本でも、日本ならではの超高級な上海蟹が食べられます。紹興酒に生の上海蟹をつけたものや、スープ、小籠包、ふかひれ等とのコラボだったり…、また、日本で良いのは手を汚さず綺麗に剥いて上海蟹が提供されるので上品に楽しめます。上海蟹と一緒に出る生姜茶も美味しいです。

3つ目は仏跳牆(ぶっちょうしょう)です。「仏」は僧侶、「跳」は跳ぶ、「牆」は壁や塀という意味で、自分に厳しくある修行僧でさえ、その香りがかぐと我慢できず寺の壁を跳び越えて来てしまうというくらい美味しいスープとしてたとえられます。私も最初に食べたときには、驚きと感動するくらい美味しく、スープの

中の王様、不動の1番となっております。私の1番は、上海の会社近くのホテルにある仏跳牆でしたが、残念ながら今は閉店してしまい幻になりつつあります…主な材料はアワビやホタテ、ナマコ、キノコなど海鮮の乾物を戻し何日もとろみが出るまで煮込み、透明なスープもありますが、私が食べていたものはさらにふかひれが多く入っていたので、黄色の海鮮エキスのスープで別格の仏跳牆でした。同じ仏跳牆は未だ見つけることが出来ず探し続けております。

香港の好きな言葉があります。「食得係福」(食べることは福につながり幸せである)。皆で食べる食事は美味しく楽しく幸せな時間ですね、是非中華料理を食べにいき、親睦を深め、幸せになりましょう！



国内業務・教育委員会委員長
(日本通運株式会社)
古川 達也

3コードということでは何をあげたらよいか悩みましたが、思い入れのある場所3カ所についてお話をさせていただこうと思います。

私は、国内航空貨物に一貫して従事しておりますので、国内の特に思い入れのある場所についてご紹介したいと思います。

まずは、故郷、狛江市です。東京の中南部、多摩川に面した人口7万程の小さな市です。

故郷の自慢話、ということですが知名度も低く、東京の人でも知らない人が多い、残念ながら自慢をするネタがほとんどない市です。

唯一 No1 といえるのも、東京都で一番面

積が小さい、というワースト1。

これが日本一なのであれば少しはネタになるのですが、日本では2番目という微妙にネタにもならない始末です。

少し前、アド街ック天国で狛江を取り上げて頂いたときの一位はなんと多摩川…それって狛江だけの物じゃないないよね、と市民もびっくりの内容。

子供のころの自慢話の切り札は「都下で唯一市外局番が03」というネタ。なんと同番組の市民インタビューでも全く同じ自慢話が…、スマホの時代…自慢できる内容が数十年成長していない…

こんな町で、ここでおすすめできるようなグルメもありますが、都心からもそこそこ、自然もそこそこ、住むにはちょうど良い環境です。自虐ばかりが出てきますが、小さくかわいらしいからこそ、愛着の非常に強い故郷のご紹介でした。

続いて、栃木県宇都宮市です。ここは、私が会社に入って最初に赴任した思い入れの強い町で、赴任が決まった時、航空貨物なのに宇都宮って空港ないよね？と頭に？が浮かんだことを思い出します。

ここでは、オペレーションから営業まで本当にいろんな経験をしました。経験をしなくてもよいようなことも(笑)。貨物の集配も行っていましたので、宇都宮周辺の道にはかなり詳しくなり、色々なものに

出会うことができました。グルメでいえば、芳賀のイチゴ、今市のそばは王道ですが、絶品でおすすです。個人的には「いづつや」のステーキ、「とんとん」の餃子が好きでしたね。好きなこともあり、餃子を食べる機会もやはり多かったのですが、餃子で浜松に負けて欲しくないですね。

最後は、沖縄県。

沖縄は、住んだことはありませんが、何とも言えない魅力に取りつかれ、ピーク時は「都内に飲みに行く感覚で沖縄に行くな」と揶揄されるくらい通い詰めていました。とにかく色々な魅力があります。特に、私は、三線の音が好きで、あの独特な音楽を聴いていると何とも言えない心地よさになります。仕事が忙しい時も助けてくれて、私を豊かにしてくれた、そんな私のアナザースカイ、沖縄です。

日本もまだまだ知らないことが多い、次はどんな町でどんなことに会えるのが楽しみです。



国際宅配便利用時における「正しいインボイス（仕入書または仕入書に代わる書類）作成」のお願い

JAJFA 国際宅配便業務委員会では、荷主への啓発活動として、輸出申告時における「正しい輸出申告用インボイス（仕入書または仕入書に代わる書類）の作成」をテーマに活動を行って参りました。

今般、正しいインボイス（仕入書または仕入書に代わる書類）を作成いただくにあたりまして、その作成方法について委員会として資料を作成いたしましたので、国際宅配便をご利用のお客様には、この要領に従ってインボイスを作成いただき事業者へご提出いただきますようご協力をお願い申し上げます。

● 海外への発送時には、正しいインボイス（仕入書）を作成してください。

海外への発送時は税関に対し輸出申告を行うことが義務付けられています。この輸出申告は、日本の関税法第六十八条（輸出申告又は輸入申告に際しての提出書類）に従い、必要事項を記載した「輸出申告書」を税関長に提出することにより行います。この輸出申告書の添付書類として、仕入書又は仕入書に代わる書類が必要となります。この仕入書は、関税法施行令第五十八条（輸出申告の手續）、第五十九条（輸入申告の手續）、第五十九条の二（申告すべき数量及び価格）に従って、荷送人に作成いただきます。（出典：税関 HP より）

インボイス（送り状）の作成例

下記作成要領に従ってインボイスを作成します。

MARKS & NO.		DESCRIPTION OF GOODS	QUANTITY	UNIT PRICE	AMOUNT
1	TO: XXX CO., LTD XXXXX, XXXXXXXXXXXX ST XXXXXXXXXXXXXXXXXX CITY XXXXX, XX U.S.A.				
				2	NO. 10-509-XXX-XXX DATE: APR. 1ST, 2017
ATTN: HANAKO KAIGAI XXXXXXXX DIV TEL: XXX-XXX-XXXX					
5	6	7	8	9	4
One(1) Carton	PARTS FOR CAMERA SWITCH (SERIAL NO.5476) BUTTON (SERIAL NO.1234)	2 PCS 2 PCS	JPY 1,000 JPY 500	JPY 2,000 JPY 1,000	F.O.B.Japan
10 TOTAL			4 PCS		JPY 3,000
11 FOR CUSTOMS ONLY, NO COMMERCIAL VALUE 12 ORIGIN: JAPAN					
SHIPPER ADDRESS XXX CO., LTD XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX JAPAN					
TARO KAIGAI XXXXXXXX DIV TEL: XXX-XXX-XXXX					
14 SIGNED BY: <i>Taro Kaigai</i>					

- ①「荷受人（実際に貨物を受け取る方）の会社名および氏名、住所や担当者氏名、担当部課名および電話番号、なお、実際の輸入者と配達先が異なる場合は、輸入者と配達先とをそれぞれ分けて記載。
- ②運送状のナンバー：輸送事業者から連絡がありましたら記載
- ③インボイス（送り状）の作成日を西暦で記載
- ④相手先との貿易取引条件 = 建値を記載（FOB, CIF など） - インコタームズを参照。
- ⑤海外へ送付する貨物の梱包数（カートン数）記載
- ⑥貨物の中身の品物名（品名は「Parts」「Sample」「Stationery」やブランド名、型番、品番などの記載ではなく、具体的な名称をご記入ください。また、用途・材質・成分などを併せて記載
例：○ Children's T-shirts Cotton 100%
× Sample / Parts / Stationery
- ⑦数量を記載 - Pieces, Sheets, Sets や litters など品物ごとに分けて記載
- ⑧税関申告単価 通関申告上、正しい単価が必要なため、通貨が特定できない¥マークや単価「0」での記載不可
例：円 = JPY、ドル = USD、中国元 = CNY
- ⑨小計金額（それぞれの税関申告価格を記載 → 上記⑦ × ⑧）
- ⑩この貨物の合計数量と合計金額
- ⑪無償の場合（代金の決済が伴わない場合）は、NO COMMERCIAL VALUE/VALUE FOR CUSTOMS PURPOSE ONLY と記載。
- ⑫品物の原産国や地域名を品物別に記載
- ⑬荷送人（貨物を送る方 = 輸出者）の会社名や氏名、郵便番号、住所、担当者名、担当部課名および電話番号を記載、荷送人（輸出者）に不備がある場合、輸出通関許可が受けられない場合や遅れる場合があります。
- ⑭内容物や金額が正しいことを証するため実筆のサイン（署名）をします

（引用：OCS 様 HP）

インコタームズ

海外との取引においては、国内取引と比較しますと、(1) 言語、文化、商習慣、法制度等が異なる (2) 取引相手が遠く離れており、容易に会うことができない (3) 時差があり、簡単にコミュニケーションが取りにくい (4) 貨物の発送・引き渡しから代金決済まで、時間差が生じる (5) 決済通貨、支払い条件が異なることが多くありますので、海外との取引開始前に貿易取引条件を決めておく必要があります。国際商業会議所 (ICC) が制定したインコタームズ (Incoterms) と呼ばれる貿易取引条件を使用します。

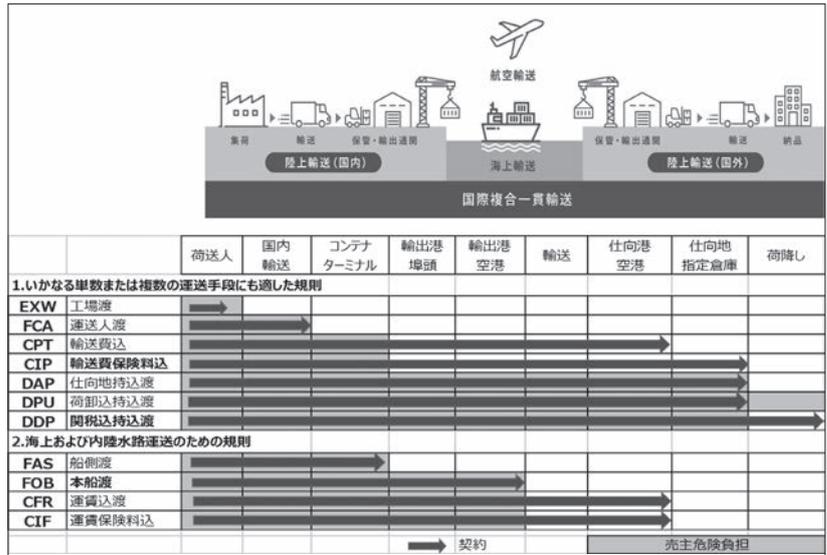
インコタームズは、貿易取引における売買当事者間の誤解・紛争・訴訟等を防止するために制定した国際規則であり、売主・買

主間の物品の引き渡しに関する危険の移転の分岐点、役割や費用（運送の手配と運賃の支払い、保険の手配と保険料の支払い、通関手続きと費用）の負担区分などそれぞれの規則の下で売主と買主が行うべき義務をまとめた取引条件であり、アルファベット三文字（FOB、EXW など）で表されます。

- 海外発送に係る手配先と輸送代、輸送に係わる費用の負担先、関税、消費税の支払負担先
- 保険の手配元と料金支払の負担先
- 損害、クレームなどの手続きを行う側

このような取引条件を買主と事前に取り決める必要があります。

※インボイスの記載内容については、全て荷送人（送り主）の責任のもと荷送人に作成いただきます。運送人（運送引受け事業者）は、記載内容に関わるクレームや損害賠償等は一切お受けいたしません。



(国際宅配便業務委員会)

東京都中小企業振興公社主催 「航空貨物の基礎を学ぶ」に講師派遣

2024年8月21・28日の両日、公益財団法人東京都中小企業振興公社が主催しました「航空貨物の基礎を学ぶ - 初めての航空貨物の取扱い」講座に当協会より講師を派遣いたしました。

公益財団法人東京都中小企業振興公社は、東京都と連携して、中小企業を対象に幅広いサービスを展開する公的機関で、東京の中小企業の発展と地域産業の振興をサポートしておられます。

今回、中小企業振興公社が取り組んでおられる「集合教育を通じての目的別研修」の一つとして、「航空貨物」にテーマを絞った内容で講習会を開催いただき、講習会当日は、製造業、商社、卸業など14名の受講生の方に講義をさせていただきました。

当協会からは、通関業務委員会、国際宅配便業務委員会および専任講師の3名の講師が登場し、実務経験のない初めての方でも理解しやすい内容で講義を行いました。

参加者からは、航空貨物運賃の仕組み、航空危険物の取扱い、輸入通関実務や越境 EC についてなど積極的に質問もいただきました。2024年12月にも第2回の講習会を企画いただいておりますので、当協会から引き続き講師派遣を行い、サポートしていく予定です。

(国際教育委員会)



講習会講義プログラム	担当講師
航空貨物の基礎 (180分)	JAJFA 専任講師
Airway bill および約款について、航空危険物について (60分)	JAJFA 専任講師
輸出入通関業務について (60分)	通関業務委員会
国際宅配便について - 越境 EC など (60分)	国際宅配便業務委員会

2024年6月14日~15日、 FAPAA ECM/AGM 参加報告

2024年FAPAA(Federation of Asia Pacific Air cargo Associations=アジアにおける航空貨物業界団体の集まり)50th Executive Council Meeting(ECM)/Annual General Meeting(AGM)が、2024年6月14日から15日にオーストラリアのパーズにて開催されました。

この会議は、International Forwarders & Customs Brokers Association of Australia(IFCBAA)が企画し、昨年と同様にオンサイトでの開催となりました。

今回も当協会より国際交流委員会から2名が参加し、アジア太平洋地域各国から10団体が集結しました。加えてさらにゲストとして、FIATA事務局長、IATAシンガポールおよびWisotech Academyの代表も参加し、情報共有と討議が行われました。

まず初めに、Dr. Stephane Graber/FIATA事務局長よりFIATAの存在意義と、貨物代理店の活動、業界全体のデジタル化やサステナビリティにおける彼らの戦略的イニシアチブについて説明がありました。IATA-FIATAコラボレーションの見直しによるIATAとの関係性強化にも触れ、航空貨物運行の安全性とセキュリティの向上やGlobal Air Cargo Program(GACP)の開発推進にも言及がありました。

以前より議題に挙がっているGACPは、アジア太平洋地域における断片的な規制と要件の調和、危険物規則(DGR)を含む安全・セキュリティ基準やULDの取扱いと要件の調和、事前貨物情報送信の遵守や航空会社とフォワーダー間の対話確立などを目的としており、Graber氏からは今後のマイルストーンとともに実現に向けて団結の必要性が訴えられました。

Wisotech Academyによる定期船運航会社のeBL導入状況など、業界全体におけるデジタル化の現状やサービスプロバイダーの紹介、近年のサイバー攻撃の手口やそれらに対するセキュリティ強化についての情報共有に続いて、Mr. David Wee/Regional Manager, Operations, IATA アジアパシフィックからの報告が行われました。



この報告ではIATAのサステナビリティへの取り組みと貢献が強調されており、2050年のネットゼロ目標に対してSAFの利用拡大、新技術によるインフラの改善などの具体的な説明がありました。さらに生鮮食品の損失削減、使い捨てプラスチックの削減や未来の貨物施設ビジョンなどが今後の彼らの取り組みとして紹介されました。

後半部分はICS2など事前貨物情報送信のグローバルでの状況説明の後、IATA ONE Recordのプロモーションに移りました。そのコンセプトから始まり、ONE Recordの参加者、共有データ詳細、そして2026年1月1日の稼働開始目標が示されました。本邦でも10月にロードショーが行われる旨通知されております。

最後に、FAPAAの分科会である教育訓練、広報、メンバーシップと会計についてそれぞれの担当団体から発表され、活発な意見交換が行われました。引き続きFAPAAとしての課題は、アジア太平洋地域でのプレゼンス向上、航空会社との対等な関係性構築、CASS改善、銀行保証金見直しなどであり、これらに取り組んでいくことへのコンセンサスを取りFAPAA 50th ECM/AGMは幕を閉じました。2025年はフィリピンでの開催予定となっております。(国際交流委員会)

